

「はじまるよ」小学1年生の 音読おすすめ無料文章

無料の音読文章（トレーニング）

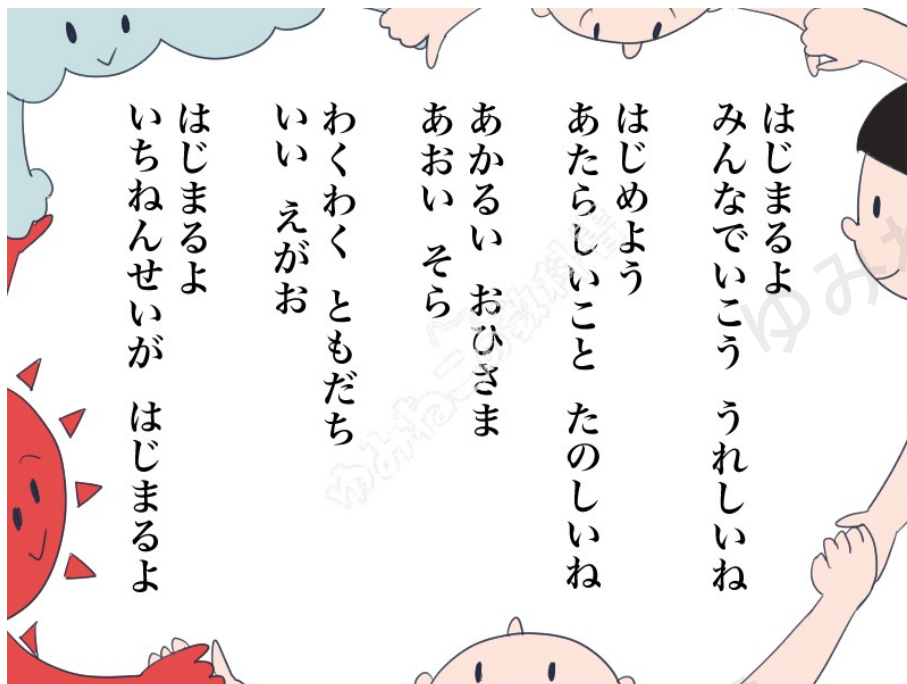
さあ いよいよ しょうがっこう 1ねんせいの こくごの
べんきょうが はじまるよ。

こくごの おんどくでは、「ただしく・はつきり・すらすら」と よめる
ように なることが たいせつだよ。

おんどくで よむちからが のびると、こくごかりょくが とても つよくなるよ。

おんどくしてみよう

おてほんを さんこうにして つぎの ぶんを おんどく してみよう。

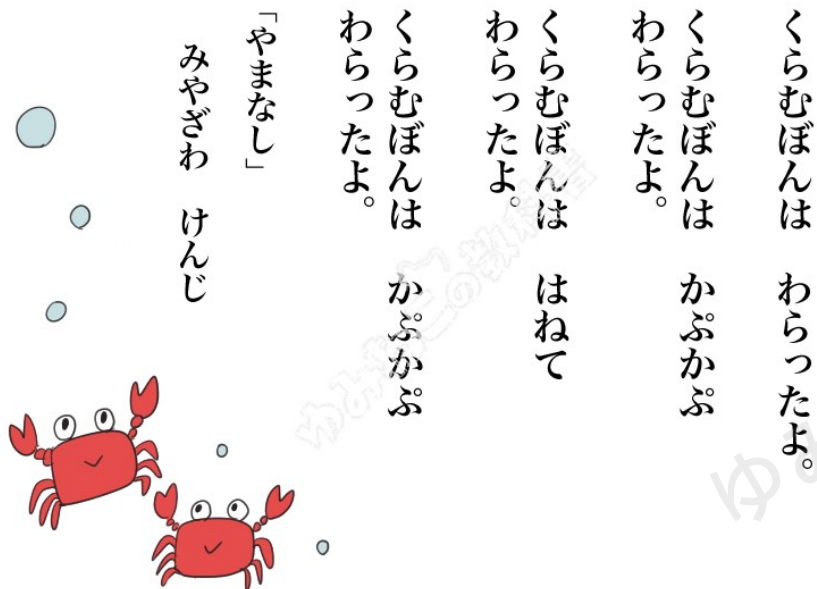


ただしく・はっきり・すらすらと おんどくを するためには、「ことばのかたまり」が わかっているかが ポイントだよ。

はじまるよ みんなでいこう うれしいね
 はじめよう あたらしいこと たのしいね
 あかるい おひさま あおい そら
 わくわく ともだち いい えがお
 はじまるよ いちねんせいが はじまるよ

あかい じの 「ことば」を かくにん しよう。
 くっついている 「ことばのかたまり」を かくにん しよう。

「やまなし」より宮沢賢治（みやざわけんじ）



「花（はな）が降（ふ）ってくると思（おも）う」
八木重吉（やぎじゅうきち）

はなが ふってくるとおもう
やぎ じゅうきち

はなが ふってくるとおもう
はなが ふってくるとおもう
この てのひらに うけとろうとおもう

「砂山（すなやま）」北原白秋（きたはらはくしゅう）

すなやま
きたはら はくしゅう

うみは あらうみ、
むこうは さどよ。
すずめ なけ なけ、もう ひは くれた。
みんな よべ よべ、おほしさま だたぞ。



「雲（くも）」山村暮鳥（やまむらぼちょう）

くも
おうい くもよ
ゆうゆうと
ばかに のんきそうじゃないか
どこまで ゆくんだ
ずっと いわきたいらの
ほうまで ゆくんか
やまむらぼちょう

「春（はる）の朝（あさ）」金子みすゞ（かねこみすず）

はるの あさ
かねこ みすず
すずめが なくな、
いい ひよりだな、
うっとり、うっとり、
ねむいな。
うえの まぶたは あこうか、
したの まぶたは まあだだよ、
うっとり、うっとり、
ねむいな。



「あるとき」山村暮鳥（やまむらぼちょう）

あるとき
もくれんの はなが
ぼたりと おちた
まあ
なんという
あかるい おおきな おとだつたらう
さようなら
さようなら
さようなら

「積（つ）もった雪（ゆき）」金子みすゞ（かねこみすず）

つもった ゆき
かねこ みすず
うえの ゆき
さむかろな。
つめたい つきが さびてて。
したの ゆき
おもかろな。
なんびやくにんも のせていて。



「雪（ゆき）」山村暮鳥（やまむらぼちょう）

ゆき

やまむら
ぼちょう

きれいな
きれいな
ゆきだこと
はたけも
やねも
まつしろだ
きれいでなくって どうしましよう
てんから ふってきた ゆきだもの

「りす、りす、こりす」北原白秋（きたはらはくしゅう）

りす、りす、こりす

きたはら
はくしゅう

りす、りす、こりす、
ちよろちよろ こりす、
あんずの みか あかいぞ、
たべたべ、こりす。
りす、りす、こりす、
ちよろちよろ こりす、
さんしょの つゆが あおいぞ、
のめのめ、こりす。
りす、りす、こりす、
ちよろちよろ こりす、
ぶどうの はなが しろいぞ、
ゆれゆれ、こりす。



「お月夜（つきや）」北原白秋（きたはらはくしゅう）

おつきや

きたはら はくしゅう

とん、とん、とん、
 あけてください。
 どなたです。
 わたしや このはよ。
 とん、ことり。
 とん、とん、とん、
 あけてください。
 どなたです。
 わたしや かせです。
 とん、ことり。
 とん、とん、とん、
 あけてください。
 どなたです。
 つきの かげです。
 とん、ことり。

「夕日（ゆうひ）」葛原（くずはら）しげる

ゆうひ

くずはら しげる

ぎんぎん ぎらぎら ゆうひが しずむ
 ぎんぎん ぎらぎら ひが しずむ
 まつかつか さらの くも
 みんなの おかも まつかつか
 ぎんぎん ぎらぎら ひが しずむ
 ぎんぎん ぎらぎら ゆうひが しずむ
 ぎんぎん ぎらぎら ひが しずむ
 からの おひを おっかけて
 まつかに そまっつて まっつて こい
 ぎんぎん ぎらぎら ひが しずむ



「大空（おおぞら）の心（こころ）」八木重吉（やぎじゅうきち）

おおぞらの	こころ
わたしよ	やぎ
わたしよ	じゅうきち
はくちようとなり	
らんらんと	すきとおって
おおぞらを	かけり
おおぞらの	うるわしい
こころに	ながれよう

「赤（あか）い鳥（とり）小鳥（ことり）」北原白秋（きたはらはくしゅう）

あかいとり	ことり
あかいとり	ことり
なぜ	なぜ
あかい	あかい
あかいみを	たべた
しろいとり	ことり
なぜ	なぜ
しろい	しろい
しろいみを	たべた
あおいとり	ことり
なぜ	なぜ
あおい	あおい
あおいみを	たべた

きたはら はくしゅう



「私（わたし）と小鳥（ことり）と鈴（すず）と」
金子みすゞ（かねこみすゞ）

わたしと ことりと すずと

かねこ みすゞ

わたしが りようてを ひろげても、
おそらは ちつとも とべないが、
とべる ことりは わたしのように、
じめんを はやくは はしれない。

わたしが からだを ゆすつても、
きれいな おとは でないけど、
あの なるすずは わたしのように、
たくさんな うたは しらないよ。

すずと、ことりと、それから わたし、
みんな ちがって みんな いい。

「みんなを好（す）きに」金子みすゞ（かねこみすゞ）

みんなを すきに

かねこ みすゞ

わたしは すきに なりたいな、
なんでも かんでも みいんな。
ねぎも、とまとも、おさかなも、
のこらず すきに なりたいな。

うちの おかずは、みいんな、
かあさまが おつくりなつたもの。
わたしは すきに なりたいな、
だれでも かれでも みいんな。
おいしやさんでも、からすでも、
のこらず すきに なりたいな。

せかいの ものは みいんな、
かみさまが おつくりなつたもの。



「こだまでしょうか」金子みすゞ（かねこみすゞ）

こだまでしょうか

かねこ
みすゞ

「あそぼう」「つていうと
あそぼう」「つていう。

「ばか」「つていうと
「ばか」「つていう。

「もうあそばない」「つていうと
「あそばない」「つていう。

そうして、あとで、
さみしく なって、

「ごめんね」「つていうと
「ごめんね」「つていう。

こだまでしょうか。
いいえ、だれでも。

「吾輩（わがはい）は猫（ねこ）である」夏目漱石（なつめそうせき）

わがはいは ねこである

なつめ そうせき

わがはいは ねこである。

なまえは まだ ない。

どこで うまれたか ちゃんと

けんとうが つかぬ。

なんでも うすぐらい

じめじめした ところで

にゃーにゃー ないていた ことだけは

きおく している。



「雨（あめ）ニモマケズ」宮沢賢治（みやざわけんじ）

あめにも まけず
 みやざわ けんじ

あめにも まけず
 かぜにも まけず
 ゆきにも なつの あつさにも まけぬ
 じょうぶな からだを もち
 よくは なく
 けして いからず
 いつも しずかに わらっている

おんどくカードの つかいかた

- ・おんどくした ひづけを きろく しよう。
- ・おんどくした さくひんの だいめいを かこう。
- ・おんどくした かいすうを きろく しよう。
- ・しせいは せすじを まっすぐに しよう。
- ・おおきな こえで おんどく しよう。
- ・ただしく よめたか きろく しよう。
- ・はっきり よめたか きろく しよう。
- ・すらすら よめたか きろく しよう。
- ・おうちの かたの サインを もらおう。
- ・せんせいの サインを もらおう。

